

蔡國強 / CAI GUO-QIANG

生年月日： 1957年12月8日, 中国福建省泉州市に生まれる
教育： 1981年- 1985年上海演劇大学美術学部学ぶ
滞在： 1986年- 1995年 東京, 日本
1995年- 現在： ニューヨーク

助成, 受賞：

カルティエ現代美術財団アーティスト・イン・レジデンス・プログラムにより三ヶ月間
パリに滞在, 1993

第46回ベニス・ビエンナーレ / トランスカルチャー展「ベネッセ賞」受賞
「日本文化デザイン賞」受賞, 1995

ACC (アジア・カルチュラル・カウンシル) の招待により、一年間ニューヨークP.S.1
インターナショナル・スタジオ・プログラムに参加, 1995-1996

第1回「織部賞」受賞, 日本, 1997

第48回ベニス・ビエンナーレ「国際金獅子賞」受賞, イタリア, 1999

「アルバート芸術賞」受賞, アメリカ, 2001

「国際芸術評論家協会US部会 最優秀展覧会および展示賞 "Cai Guo-Qiang: Inopportune"」受賞,
アメリカ, 2005

第7回「ヒロシマ賞」受賞, 日本, 2007

第3回Art of China Awards受賞, 中国, 2008

第20回福岡アジア文化賞受賞, 日本, 2009

「国際芸術評論家協会US部会 公共空間プロジェクト最優秀賞 "Cai Guo-Qiang: 花開花落"」受賞,
アメリカ, 2010

監督, 指揮

北京オリンピック開閉会式ビジュアル, スペシャルエフェクトスーパーバイザー, 芸術監督, 2008

北京オリンピック・パラリンピック開閉会式視覚特殊芸術監督, 2008

中華人民共和国建国60周年記念式典芸術監督, 北京, 中国, 2009

台北国際花の博覧会企画制作チームアドバイザー, 台湾, 2010

主な展示歴

個展

1987

日本外国人記者クラブ, 東京

1989

「作品展1988-89」大阪府立現代美術センター，大阪

1991

「原初火球 - The Project for Projects」P3 art and environment，東京

1992

「嘆きの壁 - 400台の自動車のエンジンより」かわさきIBM 市民文化ギャラリー，川崎

1993

「Project for Extraterrestrials No.10: 万里の長城を一万メートル延長するプロジェクト」嘉峪関，中国

1994

「混沌」世田谷美術館，東京

「炎について」東京画廊，東京

「Project for Extraterrestrials No.14: 地平線 - 環太平洋より」いわき，福島

「環太平洋より」いわき市立美術館，福島

「生命暦」APAギャラリー，名古屋

1996

「キノコ雲のある世紀 - Projects for 20th Century」ネヴァダ核実験場 /ソルト・レイク/ニューヨーク，アメリカ

1997

「文化大混浴 - Projects for 20th Century」クイーンズ美術館，ニューヨーク，アメリカ

「飛龍在天」ルイジアナ近代美術館，デンマーク

1998

「不破不立 - 引爆台湾省立美術館」台湾省立美術館（現・国立台湾美術館），台中，台湾

「胡思乱想」誠品画廊，台北，台湾

1999

「私は千年虫」クンストハーレ・ウイーン，オーストリア

2000

「階段をのぼる」第69連隊武器庫（アーモリーショー），ニューヨーク，アメリカ

「The Project for Projects」カルティエ現代美術財団，パリ，フランス

2001

「アーティスティック・デレクション上海 APEC 花火プロジェクト」上海，中国

「随意の歴史」リヨン現代美術館，リヨン，フランス

「万華鏡」ノマルエディション・プロジェクト・スペース，大阪

「キュレーションUMoCA / 橋下現代美術館開館記念展 倪再沁個展」アルテ・コンティニウア，コッレ・ディ・ヴァル・デルザ，イタリア

「印象油絵ドローイング」チャールズ・H・スコット・ギャラリー，バンクーバー，カナダ

「水墨写生実演」コンテンポラリー・アート・ギャラリー，バンクーバー，カナダ

2002

「空霊の花」トレント市立現代美術館，トレント，イタリア

「動く虹」ニューヨーク近代美術館，ニューヨーク，アメリカ

「蔡國強の茶室- 岡倉天心へのオマージュ」箱根 彫刻の森美術館，箱根

「蔡國強芸術展」上海美術館，上海，中国

2003

「空にある驚と目と人間- シワのための凧揚げプロジェクト」シワ，エジプト

「空の光輪- セントラルパークのための爆発プロジェクト」クリエイティブタイム，ニューヨーク

「爆発事件 - セントラルパーク空の光輪」アジアソサエティー美術館，ニューヨーク，アメリカ

「Matrix 204/蔡國強- For Your Pleasure」カリフォルニア大学パークレー美術館，アメリカ

「キュレーションDMoCA / ドラゴン現代美術館：越後妻有アートトリエンナーレ キキ スミス展

「小休止」津南町，新潟

2004

「Inopportune」マサチューセッツ現代美術館，ノース・アダムス，アメリカ
「トラベラー」スミソニアン博物館，ワシントン DC，アメリカ
「キュレーション BMOCA /バンカー現代美術館「金門トーチカ彫堡芸術館-18の個展」」金門島，台湾

2005

「トルネード- 中国文化年のための爆発プロジェクト」ケネディ芸術センター，ワシントン DC，アメリカ
「キュレーション UMoCA /橋下現代美術館 馬文個展「風園」」アルテ・コンティニウア，コッレ・ディ・ヴァル・デルザ，イタリア
「暗黒の中の生命」フルーツマーケット・ギャラリー，エジンバラ，スコットランド
「パラダイス」ザハタ・ナショナルギャラリー，ワルシャワ，ポーランド
「キュレーションChina Pavilion 第51回ベニス ビエンナーレ中国館」ベニス，イタリア
「黒い虹」バレンシア現代美術館，バレンシア，スペイン
「On Black Fireworks」バレンシア現代美術館，バレンシア，スペイン

2006

「コンセプト&ビジュアルデレクション「ウインド シャドー(Cloud Gate Dance Theater of Taiwan)」」台北，台湾
「Head On」ドイツ・グッゲンハイム，ベルリン，ドイツ
「キュレーションDMoCA /ドラゴン現代美術館：越後妻有アートトリエンナーレ 宮永甲太郎展「脈」」津南町，新潟
「Long Scroll」ナショナルギャラリー・オブ・カナダ・シャウィニガン・スペース，カナダ
「キュレーション「長征 - 中国現代芸術教育座談会」」延安，中国
「透明記念碑」メトロポリタン美術館，ニューヨーク，アメリカ
「ステージ」ガレリア・コンティニウア，コッレ・ディ・ヴァル・デルザ，トスカーナ，イタリア
「Inopportune」サイトサンタフェ，ニューメキシコ州，アメリカ

2007

「時光」資生堂ギャラリー，東京

2008

「第7回ヒロシマ賞受賞記念 蔡国強展」広島市現代美術館，広島
「黒い花火- ヒロシマのためのプロジェクト」広島市現代美術館，基町環境護岸，広島
「蔡国強：我想要相信 - Cai Guo-Qiang: I Want to Believe」中国美術館，北京，中国
「蔡国強：我想要相信 - Cai Guo-Qiang: I Want to Believe」グッゲンハイム美術館，ニューヨーク，アメリカ

2009

「蔡国強：我想要相信 - Cai Guo-Qiang: I Want to Believe」グッゲンハイムビルバオ（グッゲンハイムニューヨークの協力）
「蔡国強：泡美術館- 美術館でぶらぶら」台北市立美術館
「蔡国強：花開花落」フィラデルフィア美術館，ファブリックワークショップ美術館，フィラデルフィア，アメリカ

2010

「蔡国強：農民ダ・ピンチ」上海外灘美術館，中国
「蔡国強：地中海遊記」ミュージアム・オブ・モダン・アンド・コンテンポラリー・アート，ニース，フランス
「蔡国強：ヘッドオン」シンガポール国立博物館，シンガポール（ドイツ銀行主催）
「蔡国強：遠行」パーマネント・ドローイング・インスタレーション，ティン・ツウン・アンド・ウェイ・フォン・チャオ・アーツ・オブ・チャイナ・ギャラリー，ヒューストン美術館，テキサス，アメリカ
「蔡国強：陽光そして寂寞」メキシコ自治大学付属現代美術館，メキシコシティ，メキシコ

グループ展

1985

「武夷山野外展」福建省，中国
「上海・福建青年現代美術連合展」福州市美術館，福建省，中国

1989

「'89 多摩川ふっさ野外美術展」 「Project for Extraterrestrials No.1: 人類の家」 多摩川, 東京

1990

「第7回 Japan牛窓国際芸術祭」 「Project for Extraterrestrials No.5: 胎動」 牛窓, 岡山
「ミュージアムシティ・天神 '90」 「Project for Extraterrestrials No.4: 私はE.T. - 天神と会うためのプロジェクト」
福岡市役所/ 長浜船溜空地, 福岡
「中国明日展」 「Project for Extraterrestrials No.3: 人類がその45.5億年経った星につくった 45個半の隕石クレーター」
プリエール, エクサンプロヴァンス, フランス

1991

「中国前衛美術家展- 非常口」 「Project for Extraterrestrials No.11: 天地悠々」 三菱地所アルティウム/香椎操車場跡地, 福岡
「アジアの浪 - 三人展」 東京画廊, 東京

1992

「宇宙樹を探せ - アジア現代美術への旅」 「火箭史」 埼玉県立近代美術館, 埼玉
「テレコミュニケーション時代における美術展」 「Project for Extraterrestrials No.12: 人類の神話」 ウィーン, オーストリア
「カッセル国際美術展- 他文化との遭遇」 「Project for Extraterrestrials No.9: 胎動II」 ハン・ミュンデン, ドイツ

1993

「野外制作 '93」 「文明葬 - 野焚きより」 しがらき陶芸の森, 滋賀
「沈黙のエネルギー」 「Project for Extraterrestrials No.17: オックスフォードの彗星」 オックスフォード近代美術館/エンジェ
ル・メドウ, オックスフォード, イギリス

1994

「闇中の心」 「Project for Extraterrestrials No.21: 神話 - 射日、青十字 - 美術館のための処方箋」 クレラー・ミ
ュラー美術館 / フェリューウェ国立公園・オッテルロー, オランダ
「アジアの創造力」 「Project for Extraterrestrials No.16: 地球にもブラックホールがある」 (広島アジア大会のための
プロジェクト) 広島市現代美術館 / 広島市中央公園, 広島
「パース芸術祭- 源泉」 「Project for Extraterrestrials No.20: 地球への梯子を揚げる」 パース, イギリス
「水戸アニュアル '94- 開放系」 「A Cosmic Diagram: 水戸のための風水プロジェクト」 水戸芸術館現代美術ギャラリー,
茨城
「京を創る '94」 「長安からのお祝い - 平安建都1200年のためのプロジェクト」 京都
「亜細亜散歩」 「散歩」 資生堂ギャラリー, 東京

1995

「'95 ジュン・アン・ビエンナーレ特別展- 瞑想」 「東アジア」 ホーアン美術館, ソウル, 韓国
「水の波紋 '95」 「橋」 ワタリウム美術館, 東京
「第46回ベニス・ビエンナーレ/トランスカルチャー展」 「マルコ・ポーロの忘れ物」 ベニス, イタリア
「開館記念展 日本の現代美術1985-1995」 「東方・三丈塔」 東京都現代美術館, 東京
「第1回ヨハネスブルク ビエンナーレ」 「Project for Extraterrestrials No.25: 制限のある暴力- 虹」 ヨハネスブルク
タービンホールビル, ヨハネスブルク, 南アフリカ
「第51回スクリップスセラミック・アニュアル」 「大器未成」 スクリップス・カレッジ附属ルース・チャンドラー・
ウィリアムソン・ギャラリー, カリフォルニア, アメリカ

1996

「天と地の間に- 今日の日本美術展II」 「チンギスハンの舟」 名古屋市立美術館/タマヨ美術館, メキシコシティ
「ヒューゴ・ボス賞展」 「龍が来た! 狼が来た! - チンギスハンの舟」 グッゲンハイム美術館ソーホー別館, ニューヨーク
「赤い門」 「蔵龍臥虎 - 真のコレクション: 美術品収蔵庫のためのプロジェクト」 ゲント現代美術館, ゲント, ベルギー
「火の起源と神話- 日中韓のニューアート」 「火の用心」 埼玉県立近代美術館, 埼玉
「第23回サンパウロ・ビエンナーレ ユニバーサリス」 「ドーム - Projects for 20th Century」 サンパウロ, ブラジル
「アジア・太平洋現代美術トリエンナーレ」 「龍 / 虹の蛇 - 祝福或いは畏懼された神話」 クイーンズランド・アートギャ

ラリー、ブリズベン、オーストラリア
「20世紀の廃墟の中で」 「カニの家 - Projects for 20th Century 」 P.S.1, ニューヨーク, アメリカ

1997

「移動する都市」 「赤いゴルフ」 ゼセッション, ウィーン, オーストリア/ボルドー現代美術館, フランス/P.S.1, ニューヨーク(1998)/ルイジアナ近代美術館, ハンブルク, デンマーク(1999)/ヘイワード・ギャラリー, ロンドン(1999)/フィンランド現代美術館 キアズマ, ヘルシンキ, フィンランド(1999)
「第5回国際イスタンブールビエンナーレ- 人生、美、翻訳、そしてその他の困難」 「彼岸」 イスタンブール, トルコ
「第47回ベニスビエンナーレ- 未来・現在・過去」 「龍が来た！」 ベニス, イタリア
「不安なる行為」 「有病治病、無病防身」 シカゴ現代美術館/サンディエゴ現代美術館, サイト・サンタフェ, ニューメキシコ州, アメリカ
「亜細亜散歩II」 「天機」 資生堂ギャラリー, 東京

1998

「メルボルン フェスティバル- 残跡」メルボルン, オーストラリア
「イッセイ ミヤケ メイキング・シングズ」カルティエ現代美術財団 パリ, フランス/ ACEギャラリー, ニューヨーク, アメリカ(1999)/ 東京都現代美術館 (2000)
「交差」 「龍が来た！/狼が来た！- チンギスハンの舟」 「龍が来た！- オタワ川より」 ナショナルギャラリー・オブ・カナダ, オタワ, カナダ
「グローバル・ビジョン- 90年代のニューアートII」 「龍が来た！」 デステ財団, アテネ, ギリシャ
「台北ビエンナーレ- 欲望場域」 「ゴールデン・ミサイル」 「広告城」 台北市立美術館, 台湾
「インサイド・アウト- New Chinese Art」 「草船借箭」 P.S.1, ニューヨーク/サンフランシスコ 現代美術館/ サンフランシスコ・アジア美術館(1999)/モンテレー現代美術館, メキシコ(1999)/タコマ美術館 / ヘンリー・アート・ギャラリー, シアトル, アメリカ(1999)
「天地の際」 [ニューヨークミミズ室] バードカレッジ・キュレータ研修センターミュージアム, ニューヨーク, アメリカ
「創傷 - 現代美術における民主主義と義務の履行の間で」 「分海 - Project for Extraterrestrials No.30」 ストックホルム現代美術館, スウェーデン
「都市・庭園・記憶」 ローマ・フランス・アカデミー, ローマ, イタリア(1999, 2000)

1999

「第3回アジア・太平洋現代美術トリエンナーレ- Beyond The Future」 「渡橋」 クイーンズランド・アートギャラリー, ブリズベン, オーストラリア
「クンストヴェーゲン」 「天窓」 ノルトホルン市ギャラリー, ドイツ
「時代精神」 [2000年の鐘] ボン美術館, ボン, ドイツ
「アート・ワールド・イン・ダイアログ」 「神を信じない世紀」 ルードヴィヒ美術館, ケルン, ドイツ
「ヒリヤ・イン・ザ・ミュージアム」 「ヒリヤごみ山改造計画」 テルアビブ美術館, テルアビブ, イスラエル
「第3回サンタフェ トリエンナーレ- Looking for a Place」 「灯塔」 サイト・サンタフェ, ニューメキシコ州, アメリカ
「第48回ベニスビエンナーレ- APERTO over ALL」 「ベニス収租院」 ベニス, イタリア
「パノラマ2000」 [最後の晚餐をつくる] ユトレヒト中央博物館, オランダ
「オープニングS.M.A.K.」 「お祝い」 ゲント現代美術館, ベルギー
「現代美術の国際的現状」 「龍が来た！狼が来た！- チンギスハンの舟」 グッゲンハイム美術館 ビルバオ, スペイン

2000

「上海ビエンナーレ - 上海スピリット」 「大衆のための自我宣伝」 上海美術館, 中国
「オープン・エンド- MoMA2000」 「草船借箭」 ニューヨーク近代美術館, アメリカ
「メディアシティ・ソウル 国際メディアアートビエンナーレ」 「ビッグバン・スモールパン」 ソウル 市立美術館, 韓国
「抵抗の行動」 「ビッグバン・スモールパン」 コルド・ミチェレナ文化センター, ドノスティア・サン・セバスチャン, スペイン
「第1回越後妻有アートトリエンナーレ」 「DMoCA ドラゴン現代美術館」 津南町, 新潟
「第5回リヨンビエンナーレ- Sharing Exoticism」 「文化大混浴」 リヨン, フランス
「アートパーゼル31- Art Unlimited」 「龍年」 パーゼル, スイス
「第12回シドニービエンナーレ2000」 「写生実演」 シドニー, オーストラリア
「オーバー・ザ・エッジ」 「空中入浴」 ゲント現代美術館, ゲント, ベルギー
「大地の安寧」 「礼砲」 パーイア現代美術館, サルヴァドール, ブラジル
「ホイットニービエンナーレ2000」 「あなたの風水は大丈夫か？」 ホイットニー美術館, ニューヨーク, アメリカ

「インサイド・アウト」 「水晶塔」 ナショナル・ギャラリー・オブ・オーストラリア, キャンベラ, オーストラリア
「アウトバウンド- 90年代の路」 「龍が来た！」 ヒューストン現代美術館, ヒューストン, アメリカ
「壁」 「万里の長城を一万メートル延長するプロジェクトについて」 国立歴史博物館, 台北, 台湾
「感恩」 「921の烙印」 国立台湾美術館, 台北, 台湾

2001

「フロム・フォロー・フィクション」 「油絵写生実演」 カステロ・デ・リボリ現代美術館, トリノ, イタリア
「横浜トリエンナーレ2001- Mega Wave」 「花火大会 - 天より」 横浜
「第49回ベニスビエンナーレ」 「ビエンナーレのためのサービス」 ベニス, イタリア 「ギフト」 「勝利のギフトは傷痕
累々」 パラッツォ・パペーゼ現代美術センター, シエナ, イタリア/スコッツデイル現代美術館, アリゾナ,
アメリカ (2002) / ブロンクス美術館, アメリカ (2002)
「バレンシアビエンナーレ」 「焼塔のためのドローイング」 バレンシア, スペイン
「ソンスビーグ9 - 位置と焦点」 「画家のよう、絵のよう」 アーネム, オランダ
「イン・メイ現代ダンスのための視覚と環境デザイン- 「分裂」 」 セントマーク教会, ニューヨーク, アメリカ

2002

「到着」 「今宵はこんなにきれい」 カルティエ現代美術財団, パリ, フランス
「第1回広州トリエンナーレ 解説- 中国実験芸術の十年」 「万華鏡 - タイムトンネル」 広東美術館, 広州, 中国
「第3回モントリオール ビエンナーレ」 「印象油絵ドローイング - 動く虹」 モントリオール, カナダ
「ザ・ギャラリー・ショー」 「マネーバッグ」 ロイヤルアカデミー・オブ・アート, ロンドン, イギリス
「マグネット- トスカーナの海外アーティスト」 ルイジ・ペッチ現代美術センター, ビストイア, イタリア
「とち国際現代美術展デメーテル」 「天空にあるUF0と社」 帯広競馬場, 帯広
「美術の力」 「青い龍」 「九十九の黄金船」 兵庫県立美術館, 神戸
「赤い大陸 - 中華」 「夢」 光州市立美術館, 光州, 韓国
「ev+ a 2002」 「逆流」 リメリック市立ギャラリー, リメリック, アイルランド
「Mミーティング」 「蜘蛛の巣」 浙江省立図書館, 杭州, 中国
「癒しのアート」 「灸療法 - アフリカのために」 アベックス・アートギャラリー, ニューヨーク, アメリカ
「関係の必要性」 「万華鏡」 トレント市立現代ギャラリー, トレント, イタリア
「描かない絵」 「階段をのぼるためのドローイング」 ライプツィヒ美術館, ドイツ

2003

「Drawing Show」 フロリダ大学, ゲインズビル, フロリダ, アメリカ
「英雄の時代- 近代名作美術館- 200の絵画・彫刻作品」 ヒューストン美術館, ヒューストン, アメリカ
「そして、中国へ？」 ボンビドゥー・センター, パリ, フランス
「鼓動、アート、癒し、そして変容」 「有病治病、無病防身」 ICAボストン, アメリカ
「何処かもっとよい所」 「文化大混浴」 シンシナティ現代美術センター, シンシナティ, アメリカ

2004

「紅星飛蝶 - アジア文化協会40周年のためのプロジェクト」 リンカーンセンター, ニューヨーク, アメリカ
「逆転の過去」 「空で山水画を描く」 サンディエゴ美術館, アメリカ
「ミラマー航空ショー」 「空で山水画を描く」 サンディエゴ美術館/ 米海兵隊航空基地, アメリカ
「第26回サンパウロ ビエンナーレ」 「一路順風」 サンパウロ, ブラジル
「天空の下で」 「日時計のためのドローイング」 アントワープ現代美術館, ベルギー
「ザ・スノーショー」 「ワオッカで Zaha Hadidを愛撫する」 ロバニエミ, フィンランド
「ロッテルダム国際フィルムフェスティバル- Exposing Cinema」 「今夜はこんなにきれい」 ロッテルダム, オランダ

2005

「世界を促進する」 「過橋」 クイーンズランド・アートギャラリー, ブリズベン, オーストラリア
「壁」 「万里の長城を一万メートル延長する - 外人のためのプロジェクト」 中華世紀壇芸術館, 北京 /
ニューヨーク州立バッファロー大学アートギャラリー, アメリカ
「量子跳」 「キノコ雲のある世紀 - 20世紀のためのプロジェクト」 ハーバード大学附属美術館カーペンターセンター,
ケンブリッジ, マサチューセッツ, アメリカ
「トランスレイション」 「龍がきた！」 パレ・ド・トーキョー, パリ, フランス
「光と影」 キュッパ製粉所美術館, デュースブルク, ドイツ
「建物はキュレーションできるか？」 「金門バンカー芸術館」 アート&アーキテクチャー・ストアフロント, ニューヨー
ク, アメリカ
「私的英雄」 「空飛ぶ絨毯」 マルタ・ハーフォード美術館, ハーフォード, ドイツ
「トレーディング・プレイス」 「TVで絵を買う」 台北現代美術館, 台湾

「普遍的経験 - 芸術、人生と旅行者の眼」 「ドキュメント フォー 爆発プロジェクト」 シカゴ現代美術館, アメリカ
「夢見る現在」 「夢」 ブランディーズ大学ローズ美術館, ウォルサム, アメリカ

2006

「書における現代中国芸術の再創」 「和冠 - 東アジアのためのプロジェクト」 チャイナ・インスティテュート,
ニューヨーク, アメリカ
「捕風捉影- 蔡国強と林懐民の風影」 誠品画廊, 台北, 台湾
「蘇州博物館新館開館展」 「水巷尋夢」 蘇州, 中国
「アウト・オブ・タイム」 「“動く虹”のためのドローイング」 ニューヨーク近代美術館, ニューヨーク, アメリカ
「エルドラド - 美術館落成開幕展」 「ネット」 ルクセンブルク美術館, ルクセンブルク

2007

「SAM at 75: ビルディング・ア・コレクション・フォー・シアトル, シアトル・アート・ミュージアム」 シアトル,
アメリカ
「アルテンボ- Where Time Becomes Art」 パラッツォ・フォールトゥニ, ベニス, イタリア
「ザ・ミュージアム・コレクション- New Hangings」 「一路順風」 ポンピドー・センター, パリ, フランス
「60億の犯罪者を人質に！」 「黒い花火 - IVAMのためのプロジェクト」 ウォーホル美術館, ピッツバーグ, アメリカ
「Speed Three」 バレンシア現代美術館, スペイン
「オブ・ネイチャー・アンド・フレンドシップ- マイケル サリバン コレクション中国現代美術絵画」 シアトル・
アジア美術館, シアトル, アメリカ

2008

「ニューオリンズ ビエンナーレ」 「黒い花火」 ニューオリンズ, アメリカ
「北京オリンピック: ビジュアル・アンド・スペシャルエフェクト・ディレクター」 北京オリンピック開会閉会式典,
北京, 中国
「God & Goods: Spirituality and Mass Confusion」 ヴィラ・マニン, コードロイボ, イタリア
「Shu:Reinventing Books in Contemporary Chinese Art」 ホノルル, アカデミー・オブ・アーツ
「New Ink Art: Innovation and Beyond」 香港芸術美術館
「Academia. Qui es-tu?」 ラ, シャペル, デュ, エコール国立美術館

2009

「第10回ハバナビエンナーレ/ミーティングポイント」 「ボートのスケッチ」 ハバナ, キューバ
「Stages」 エマニュエル. ペロタンギャラリー, フランス, アーモリー, ニューヨーク, アメリカ
「第4回福岡トリエンナーレ」 「四季頌歌」 アジア美術館, 福岡,
「バイク・ライド」 アルドリッチ現代美術館, アメリカ
「我が家の天空:中庭の現代芸術- コルドバの16のパティオ」 「動く庭」 コルドバ公文書館, コルドバ, スペイン

2010

「第17回シドニービエンナーレ/The Beauty of Distance: Songs of Survival in a Precarious Age」 「Inopportune Stage
I」 シドニー, オーストラリア
「アルファ・オメガ」 デステファンデーションセンター・フォー・コンテンポラリー・アート, アテネ, ギリシャ
「XIVインターナショナル・スカulptチャー・ビエンナーレ・オブ・カレラ/ポスト・モニュメント」 「千人の子供がダビデ
を描く」 カレラ, イタリア
「あいちトリエンナーレ2010/都市の祝祭」 愛知芸術文化 センター, 名古屋
「Berliner Bilder」 コイドル・クンストハーレ, ベルリン (ベルリン銀行, ドイツ銀行 主催)
「コレクターズ・チョイス/コレクターズ・ボイス」 アジアン・アート・ミュージアム, サンフランシスコ, アメリカ
「Nuit Electriques」 巡回展, マルチメディア・アート・ミュージアム, モスクワ, ロシア (12/9 2010-1/30 2011) アート・
クリエイション・インダストリアル・センター, ヒホン, スペイン (3/18-9/12 2011)

爆発プロジェクトおよびその他

1989

「人類の家: 外星人のためのプロジェクト No.1」 (11月11日), 福生南公園, 熊川神社 (「'89多摩川ふっさ野外
美術展」), 東京

1990

「胎動：外星人のためのプロジェクト No. 5」 (11月3日), オリーブ園 (「第7回JAPAN牛窓国際芸術祭」), 牛窓, 岡山
「私はE. T. 天神と会うためのプロジェクト：外星人のためのプロジェクト No. 4」 (10月6日), 長浜船留空地 (「ミュージアム・シティ・天神' 90」), 福岡
「人類がその45.5億年経った星につくった45個半の隕石のクレーター：外星人のためのプロジェクト No. 3」 (7月7日), プリエール (「中国明日展」展), エクサンプロヴァンス, フランス

1991

「天地悠々：外星人のためのプロジェクトNo. 11」 (9月15日), 香椎操車跡地 (「非常口：中国前衛美術家」展), 福岡 (ミュージアム・シティ・プロジェクトによるコミッション)

1992

「胎動II：外星人のためのプロジェクトNo. 9」 (6月27日), ハン・ミュンデン軍事基地 (「カッセル国際美術展：他文化との遭遇」展), ドイツ

1993

「文明葬- 野焚きより」 (9月7日- 10月20日), 滋賀県立陶芸の森 (「野外制作' 93」展), 滋賀
「オックスフォードの彗星：外星人のためのプロジェクトNo. 17」 (6月26日), エンジェル・メドウ・パーク (「沈黙のエネルギー」展, オックスフォード近代美術館), イギリス
「万里の長城を1万メートル延長するプロジェクト：外星人のためのプロジェクトNo. 10」 (2月27日), 甘肅省嘉峪市, ゴビ砂漠, 中国, (P3 art and environmentによるコミッション)

1994

「神話：射日：外星人のためのプロジェクトNo. 21」 (12月18日), デ・ホーヘ・フェルウェ国立公園 (「闇中の心」展, クレラー・ミューラー美術館), オッテルロー, オランダ
「地球にもブラックホールがある：外星人のためのプロジェクトNo. 16」 (10月1日), 広島中央公園 (「アジアの創造力」展, 広島市現代美術館), 広島
「平安京遷都1200年のためのプロジェクト：長安からのお祝い」 (3月13日), 京都市役所 (「京を創る' 94」), 京都
「地平線- 環太平洋より：外星人のためのプロジェクトNo. 14」 (3月7日), 太平洋沖, 四倉海岸, (「環太平洋より」展, いわき市立美術館), 福島

1995

「制限のある暴力：虹：外星人のためのプロジェクトNo. 25」 (2月28日), ヨハネスブルク発電所タービンホール (第1回ヨハネスブルク・ビエンナーレ), 南アフリカ

1996

「蔵龍臥虎- 真のコレクション：美術品収蔵庫のためのプロジェクト」 (11月9日), ゲント市立美術館, ベルギー
「キノコ雲のある世紀：20世紀のためのプロジェクト」 (2月13日- 4月21日), ネヴァダ核実験場 (モルモンメサ, オーヴァートン, ネヴァダ), ソルトレーク (ユタ), ニューヨーク市

1997

「飛龍在天：外星人のためのプロジェクトNo. 29」 (3月7日), ルイジアナ近代美術館 (「飛龍在天」展), フムレベック, デンマーク

1998

「龍：イッセイ・ミヤケ プリーツ・プリーズの上での爆破」 (10月5日), カルティエ現代美術センター, パリ, フランス
「不破不立：引爆台湾省立美術館」 (8月21日), 台湾省立美術館 (現・国立台湾美術館), 台中, 台湾
「ゴールデン・ミサイル」 (6月13日), 台北市立美術館 (「台北ビエンナーレ：欲望場域」展), 台湾
「分海：外星人のためのプロジェクトNo. 30」 (2月14日), ストックホルム現代美術館とパーサ美術館の間の海峡 (「創傷- 現代美術における民主主義と義務の履行の間で」展, ストックホルム現代美術館), スウェーデン

1999

「龍がウィーンを観光する：外星人のためのプロジェクトNo. 32」 (11月6日), クンストハレ・ウィーン (「私は2000年問題」展), オーストリア 2回の爆破イベント (1999年8月18日, 2000年7月7日)
「大地の安寧」, パーイア現代美術館, サルヴァドル, ブラジル
「ゲント市立現代美術館開館記念のための爆竹」 (5月8日), ゲント市立現代美術館, ベルギー

2000

「階段をのぼる」(12月1日), 第69回アーモリー・ショー, ニューヨーク, アメリカ (NHKによるコミッション)
「泉」(8月19日), De Oude Warandepark (「プレジャー・ガーデン」展), テイルブルグ, オランダ
「鋤で耕し、火で種をまく」(6月29日), ローマ・フランス・アカデミー (「都市, 庭, 記憶: 庭」展), イタリア

2001

上海APEC花火プロジェクトアーティストック・ディレクション (10月20日), (外滩、黄浦江, オリエンタル・
パール・テレビタワー), 上海, 中国
「画家のよう、絵のよう」(6月1日), ソンズビーク公園 (「ソンズビーク9: 位置と焦点」展), アーネム, オランダ

2002

「マネー・ネット」(9月12日), ロイヤルアカデミー・オブ・アート (「ギャラリー・ショー」展), ロンドン, イギリス
「空霊の花」(9月6日), トレント墓地 (「空霊の花」トレント市立現代美術館), イタリア
「天空にあるUF0と神社」(8月11日), 帯広競馬場 (「とち国際現代美術展デメーテル」), 帯広
「青龍」(7月13日), 兵庫県立美術館横の波止場 (「美術の力」展, 兵庫県立美術館), 兵庫
「動く虹」(6月29日), イースト・リヴァー (マンハッタンからクィーンズへ), ニューヨーク, アメリカ (ニューヨー
ク
近代美術館によるコミッション)
「逆流」(6月4日), 聖ジョーンズ・キャッスルのシャノン川 (「EV+ A2002」展), リメリック市立ギャラリー),
アイルランド
「蜘蛛の巣」(5月4日), 浙江省立図書館 (「Mミーティング」展), 杭州, 中国

2003

「空にある驚と目と人間- シワのための凧揚げプロジェクト」(11月11日- 14日), シワ・オアシス, エジプト
(シワ・アート・プロジェクトによるコミッション)
「空の光輪: セントラルパークのための爆発プロジェクト」(9月15日), セントラルパーク, ニューヨーク, アメリカ (ク
リエイティブタイムとニューヨーク市によるコミッション)
「ヤン・フートのポートレイト」(3月28日), ゲント市立現代美術館 (「随意の歴史」展), ベルギー
「葉公好龍: テート・モダンのための爆発プロジェクト」(1月13日), ミレニアム・ブリッジ+テート・モダン (「テート
& エッグ・ライブ2003」展, テート・モダン+テート・ブリテン), ロンドン, イギリス

2004

「紅星飛蝶: アジア文化協会40周年のためのプロジェクト」(11月10日), リンカーンセンター, ニューヨーク,
アメリカ (アジア文化協会によるコミッション)
「空で山水画を描く」(10月16日), ミラマー海軍航空基地 (「逆転の過去」展, サンディエゴ美術館), アメリカ
「ウォッカでザハ・ハディドを愛撫する」(2月11日), 「スノー・ショー」展, ロバニエミ, フィンランド

2005

「トルネード: 中国文化年のための爆発プロジェクト」(10月1日), ポトマック川, ワシントンDC, アメリカ
(ケネディー芸術センターによるコミッション)
「黒い虹: エジンバラのための爆発プロジェクト」(6月29日), エジンバラ城 (「暗黒の中の生命」展,
フルーツマーケット・ギャラリー), エジンバラ, スコットランド
「赤い旗」(6月17日), ザハタ・ナショナル・ギャラリー (「パラダイス」展), ワルシャワ, ポーランド
「黒い虹」(5月22日), チュリア・リヴァーベッド・ガーデン (「黒い花火」展, バレンシア現代美術館), スペイン
「空飛ぶ絨毯」(5月7日), goebenstrasse (「私的英雄」展, マルタ・ハーフォード美術館), ハーフォード, ドイツ

2006

「ウィンド・シャドー」コンセプト&ヴィジュアル・ディレクション (11月25日), 国立劇場, 台北, 台湾
(クラウド・ゲート・ダンス・シアターとのコラボレーション)
「タワー爆発」(10月8日), 蘇州博物館 (「蘇州博物館新館開館: 水巷尋夢」展), 蘇州, 中国
「晴天黒雲」(4月25日- 10月29日), メトロポリタン美術館アイリス&B. ジェラルド・カントール屋上庭園
(「透明モニュメント」展, メトロポリタン美術館), ニューヨーク, アメリカ
「イリュージョンII: 爆発プロジェクト」(7月11日), メッケルン通り・シュトレゼマン通り (「ヘッド・オン」展,
ドイツ・グッゲンハイム美術館), ベルリン, ドイツ

2008

「ウインド・シャドーからの映像」(4月5日), 「回個展- I Want to Believe」グッゲンハイム美術館の一部
(クラウドゲートダンスシアターとのコラボレーション) ニューヨーク広島原爆ドームの近くの元町リバーサイド公園に
て(10月25日) 第7回広島芸術賞: 蔡國強(広島市現代美術館によるコミッション) 広島, 日本
「ウインドシャドー」(11月22日), ビナバスック祭にて(クラウド・ゲート・ダンスシアターとのコラボレーシ
ョン) タンズ劇場, デュッセルドルフ, ドイツ

2009

「ボートのスケッチ」第10回ハバナビエナーレ「ミーティング・ポイント」(3月30日) フランシスコ, デ. アシシ広場
ハバナ, キューバ
「ウインドシャドー」(クラウド・ゲート・ダンス・シアターとのコラボレーション) (10/6- 10) パービカン劇場,
ロンドン, イギリス
「蔡國強: 花開花落」(12月11日) フィラデルフィア美術館, フィラデルフィア, アメリカ

パブリック・アート

茨城, 水戸駅「ライオン: 水戸のための風水プロジェクト」(水戸芸術館によるコミッション「水戸アニュアル' 94:
開放系」) 1994

東京, 東長寺「東長寺400年記念事業祠堂デザイン企画」(東長寺によるコミッション) 1998

福岡, 博多リバレイン/博多座「ドラゴン・ボート」(博多リバレインによるコミッション) 1999

東京, 汐留, 電通本社ビル「亀泉」(電通によるコミッション) 2002

新潟, 万代「灯台」(新潟市によるコミッション) 2003

六本木ヒルズ, 森アートセンター, 東京「高山流水・立体山水画」(森アートセンターによるコミッション) 2003

ブロンクス刑事裁判所, ニューヨーク「ひとつの石」(ニューヨーク市(パーセント・フォー・アート・プログラム・コミ
ッション)によるコミッション), 2007

マサチューセッツ工科大学, 「圓石鏈」(スローン経営学大学院のためのマサチューセッツ工科大学パブリックアートプロ
グラム), ボストン, 2010

蔡國強キュレーションによる展覧会

2001

「UMoCA / 橋下現代美術館 開館記念展 倪再沁個展」, アルテ・コンティニューア, コッレ・ディ・ヴァル・デルザ, イタリ
ア

2002

「蔡國強によるマクシモフ・コレクション」, 關山月美術館, 深□, 中国
「蔡國強によるマクシモフ・コレクション」, 中央美術学校, 北京, 中国
「蔡國強によるマクシモフ・コレクション」(蔡國強芸術展の一部) 上海美術館, 中国

2003

「DMoCA / ドラゴン現代美術館, 第2回 キキ・スミス展 小休止」(越後妻有アート・トリエンナーレの一部) 津南町, 新
潟

2004

「BMoCA / バンカー現代美術館, 金門の子どもたちのバンカー美術館」, 金門島, 台湾
「BMoCA / バンカー現代美術館, 金門トーチカ雕堡芸術館-18の個展」, 金門島, 台湾

2005

「UMoCA /橋下現代美術館, 馬文個展 風園」, アルテ・コンティニウア, コッレ・ディ・ヴァル・デルザ, イタリア
「純潔の庭:出現」, 第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ中国館, イタリア

2006

「DMoCA /ドラゴン現代美術館, 第3回 宮永甲太郎展 脈」 7月23日- 9月13日
(越後妻有アート・トリエンナーレの一部) 津南町, 新潟

2008

「なんでも美術館」グッゲンハイム美術館, サクラ美術教育センター, ニューヨーク

2009

「なんでも美術館」グッゲンハイムビルバオ美術館, 3月17- 9月 (回個展, 「*I Want to Believe*」の一部)

「DMoCA /ドラゴン現代美術館, 第4回 ジェニファー・ウエン・マー展」 7月23日- 9月13日
(越後妻有アート・トリエンナーレの一部) 津南町, 新潟

「UMoCA /橋下美術館, キキ・スミス展 Color Still」アルテ・コンティニウア, コッレ・ディ・ヴァル・デルザ, イタリア,
9月24日- 2011年1月24日